

さいごくかいどう・せの

西国街道・瀬野

平成27年度認定/広島市安芸区/瀬野川流域郷土史懇話会

西国街道の難所、大山峠を控えた間宿

広島市の東部を流れる瀬野川の谷間は、 古くから重要な交通路となってきました。 古代の山陽道、近世の西国街道、近・現代の 山陽本線や国道2号など、いつの時代の幹 線も通っています。その中でも瀬野地区 は、西国街道の難所、標高337mの大山峠 を控えた交通の要衝でした。

古代山陽道の時代、大山峠の頂上付近に

は、馬継のための大山駅が置かれたと推定されています。近世西国街道の時代には、上瀬野の一貫田は海田宿と西条四日市宿の間に位置する間宿として、『中国行程記』には「出見世」と記され「左右茶屋多し」とあり、宿場町として賑わっていました。鉄道の時代を迎えると、瀬野~八本松駅間の急こう配を補助機関車で後押しするため瀬



山頭火が一貫田で詠んだ句が 刻まれる句碑

た人の足跡と が人の足跡と



「出見世」と言われ街道の間宿として賑わった一貫中の町並み



大山峠登り口の万葉歌碑

野機関区が設けられ、最盛期には補助機関車(D52)25両、職員250名が勤務し、「瀬野は鉄道村」と言われました。

瀬野地区には、この地を行き交った旅人の記録が残されています。大山峠への登り口には、小田事の作と伝えられる万葉集に載る歌碑が。その近くでは、幕末の尊王論者、吉田松陰が安政の大獄により江戸の獄舎に送られる途次、漢詩を詠んでいます。漂泊の俳人、種田山頭火は一夜の宿をとった一貫田で日記と16の句を書きとめました。西国街道をたどれば、瀬野の山河にそれぞれの旅路の心情を詠み込んだこれら

の作品に出会えます。

また、瀬野にはこの地で営まれたモノづくりの面影も。大山刀鍛冶の一族は、南北朝〜戦国期に8代にわたって名刀をこの地で鍛えてきました。瀬野川の水力を利用して、江戸時代には菜種油を搾る広島藩の油御用所が、明治には官立の洋式紡績工場が設けられています。

路傍の道標や案内板に導かれた古道の 探勝は、瀬野の歴史と旅人の息づかいに触れる、時間と空間の小旅行に誘ってくれる ことでしょう。

追記:大山峠の道は、平成30年の西日本豪雨災害により通行困難になっています。

∼隠れた地区の歴史文化の掘り起こしと紹介、伝承に取り組んでいます。~



「瀬野川流域郷土史懇話会」 会長の松本尚武さん

種田山頭火が瀬野に宿泊し、日記と句を残したことを記念して句碑を建立したのをきっかけに会を設立しました。以来、毎年の山頭火まつりの開催をはじめ、西国街道ガイドツアー、治線に点在する史跡の案内板の設置、地域の歴史をまとめた冊子『瀬野の歴史と遺蹟』『瀬野の風土と文化』を発行しています。古道の散策に興味を持つ人も増えていますので、近隣の夢街道ルネサンス認定地区の方々と連携して、西国街道リレー探訪、ボランティアガイドの充実などを進めていきたいと思っています。

141



- ●福祉センター·瀬野史跡案内図
- 2瀬野機関区跡碑
- 6净行寺
- ●落合一里塚跡·志和分れ道標
- 6県道分岐道標
- 6中倉神社
- **1**生石子神社
- 3瀬野公民館
- 9熊野跡分岐道標

た山頭火句の短冊。

- **①**広島藩油御用所跡
- ●龍善寺·山頭火句碑
- 12平山神社

- **18**2代目以降大山 刀鍛冶場跡·墓 **四**大山度姫宮跡
- €瀬野川公園・
- D51蒸気機関車 ⑥凉木一里塚跡碑
- で言田松陰詩詠の地
- B松並木
- **®**万葉歌碑
- 20上瀬野信号所跡
- ②官立綿糸紡績工場跡



西国街道の道筋を 案内してくれる道標 熊野跡分岐道標 志和分れ道標



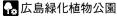




オススメ周辺情報

広島市森林公園

毎年10月に公民館と山歩きの 会、郷土史会共催で実施しています。



♠ 瀬野川公園

瀬野公民館

趣味や教養、生活な どについて自主的に 活動する地域の人々 の集う場所となって います。



143